



はくあい

第47号

令和8年1月(年2回発行)

社会医療法人 博愛会 菅間記念病院

〒325-0046 那須塩原市大黒町2番5号
TEL: 0570-08-0733(代表)
URL: <https://www.hakuai.or.jp/>

菅間付属診療所	TEL: 0287-67-1570
菅間在宅診療所	TEL: 0287-73-5934
地域包括総合センター	TEL: 0287-62-3311
NASPA(フィットネス)	TEL: 0287-67-1577
那須看護専門学校	TEL: 0287-67-1188



「紀伊半島南端の橋杭岩」 撮影者 菅間 博

～病院理念～

1. 博愛と信頼
2. 地域と共に
3. 高度な医療

～患者憲章～

患者さまには、以下の権利と義務があります。

1. 思いやりのある医療を平等に受ける権利
2. 一人一人に最適な医療を受ける権利
3. 病状・治療の充分な説明を受ける権利
4. 他の医師や医療機関に相談する権利
5. 治療方針をみずから決定する権利
6. 個人情報や診療の秘密が守られる権利
7. 診療環境の秩序を守る義務

～基本方針～

1. 「いつでも」「どこでも」「だれでも」をモットーに、救急医療から在宅医療まで、包括的な医療サービスを提供します。
2. 近隣の医療保健施設と連携し、地域の医療レベルの向上、人々の健康の増進に貢献します。
3. 常に医療技術の研鑽に努めるとともに、人間性を高め、高度で人間味のあるチーム医療を展開します。
4. ヒトとモノの両面から体制整備に努め、安全で効率的な診療環境をつくります。
5. 健全で透明性の高い経営に努め、活力に満ちた病院機能を維持します。

令和8年 新春を迎えて —丙午の2026年を博愛会の飛躍と成長の年に—

社会医療法人博愛会 理事長
菅間 博
かんまほ

謹んで2026年、令和8年の新春のお慶びを申し上げます。

昨年2025年は、今後20年つづく日本の超高齢化時代の始まりの年でした。国民の5人に1人が75歳以上の後期高齢者、約3人に1人が65歳以上の高齢者になりました。黒磯那須地域も例外ではなく、博愛会は超高齢化時代に対応する準備を進めました。医療と介護の連携を強め、高齢者が在宅・介護施設と病院のベッドをスムーズに行き来する「輪廻転"床"」の仕組み作りです。7月には高齢者の救急受け入れを担う石井智貴医師が、9月には高齢者のリハビリ在宅復帰を担う金澤寛子医師が着任しました。院内ベッドコントロールを担う看護部、一昨年改組した地域包括総合センター（地域包括ケア病棟・地域包括医療病棟、通所リハビリテーションセンター、菅間在宅診療所、ほほえみ訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等）が協働し輪廻転"床"が進むはずです。

2026年は、診療報酬が改訂されますが病院の経営環境は厳しさを増し、県北地域の医療提供体制にも様々な変化が起きることが予測されます。菅間記念病院は、地域の急性期医療を守るために高度な医療に対応する医師の招聘に努めます。4月には北関東唯一の看護系短大として那須短期大学が開校します。同時にEPAによるインドネシアからの看護師研修生の受け入れがスタートします。人口減少時代において、病院の診療を支える優秀な看護師の確保は最重要課題の一つです。同時に今年は、生成AIの電子カルテへの導入等の医療DXを積極的に進め、診療の効率化、労働生産性の向上を図ります。新たな試みとして、社会医療法人の収益事業を拡大します。具体的には、臨床検査の国際規格認定（ISO15189）を基に、甲状腺腫瘍等のNGS遺伝子検査の受託を開始とともに、メディカルツーリズムの取り込みを図ります。

今年の干支は丙午（ひのえうま）です。馬が駆けるように力強く、博愛会が発展、飛躍する年としたいと考えています。改めて「博愛と信頼、地域とともに、高度な医療」の3つ理念のもとに、5つの基本方針を確認しながら、前に進みたいと考えます。今年も職員一丸となって頑張ります。

尚一層のご指導ご鞭撻を賜りたく、心からお願い申し上げます。

元旦

謹賀新年

2026

今年は、60年に一度の丙午（ひのえうま）の年です。
すなわち、私 丙午（へいご）は還暦です。
60年前は迷信から出生数が激減しましたが、今年は
いっぱい生まれますように。

社会医療法人博愛会 菅間記念病院 院長 たけうち 竹内

へいご
丙午

午

あけましておめでとうございます

社会医療法人博愛会 菅間記念病院 事務長

あい 藍 はら 原 たかし 隆

2026年はどんな年になるのでしょうか。中国は台湾有事に触れた高市総理大臣の発言に噛みついたまま、一向に手を緩める気配がありません。海産物の輸入禁止等による経済的なダメージも計り知れません。頼りのトランプ大統領は支持率が大きく低下し、立て直しに躍起になっている状況で、世界全体がどこに向かおうとしているのか、不確実性は高まる一方です。

国内では、積極的財政出動により経済の活性化を目指しますが、財源の裏打ちが国際発行等脆弱であることから、世界的には足元を見られ円安から抜け出せず、諸物価高騰も収まる気配はありません。更に、食料問題や地球温暖化等、様々な困難な課題も錯綜したまま、未だ解決の糸口すら掴めません。気候変動の影響か、東北・北海道では熊害という途方もない、想定外の問題も起きています。そのように予測不能な時代だからこそ、他力本願ではなく、自ら困難に立ち向かい切り開く力が求められているのだと思います。

今年は午年です。特に2026年は「丙午（ひのえうま）」にあたり、情熱や決断力を意味する「丙」と組み合わ

ることで、物事を大きく広げていく強いエネルギーを持ち、活発で行動力があり、情熱や変化を象徴する年と考えられています。また、馬が広い野を駆ける姿から、「外へ向かって挑戦する」「勢いよく進む」イメージとも結びつき、チャレンジを後押しする年とも言われます。そんな午年、令和8年4月に那須短期大学看護学部が開学します。当院は勿論地域医療にとっても、看護師の確保は最重要課題のひとつであり、歴史的な一歩を踏み出すことになります。また、第二病院の設立についても、より具体的なフェーズを迎えることになります。病院経営を維持継続し県北の医療を守り抜くためにも必要不可欠、かつ、大変重要な取組であると考えており、力強く強固な志をもって進めてまいります。

新年を迎えるに当たり、地域の皆様のご支援とご協力に改めて深く感謝申し上げますと共に、地域医療機関の皆様との連携をより一層密にし、栃木県北の医療を守り貢献するために頑張ってまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新任医師紹介



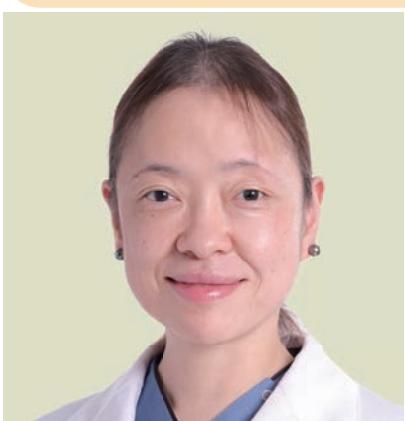
この度入職された先生方の自己紹介です

いしい ともたか 石井 智貴 先生



◆専門分野
救急科
消化器外科
一般外科
◆出身地
東京都
港区
◆趣味・特技
サッカー
スポーツ観戦
ラーメン巡り

かなざわ ひろこ 金澤 寛子 先生



◆専門分野
リハビリテーション科
整形外科
高齢診療科
◆出身地
静岡県静岡市
◆趣味・特技
旅行



令和7年7月1日よりお世話になっております、石井智貴です。宇都宮より北上して参りました。スピード感とチームでの診療を心がけて全ての患者様に診療を進めて参ります。コミュニケーションをよく取り、全ての医療従事者と共に日々の診療に当たります。患者様の笑顔のために自分も笑顔でスタッフの皆様も笑顔でいられるような環境を目指して、微力ではありますが頑張っていきたいと思います。新参者ですがどうかよろしくお願ひ致します。



2025年9月から菅間記念病院に勤務しています。

当院では機能の回復はもちろんのこと、退院後のご自宅や地域での生活を具体的に見据えたりハビリテーションを最も重視しています。特に高齢の患者様が多い地域柄、安心して住み慣れた場所で長く暮らしていただけるよう、日常動作の応用訓練や生活環境へのアドバイスに力を入れています。不安なく笑顔で日常生活を送れるよう、チーム一丸となって全力で支援いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

「健康長寿サポート外来」が始まりました！

令和7年11月より、健康寿命延伸を目的に「健康長寿サポート外来」を開設しました。

リハビリテーション専門医が血液検査や骨密度測定、体組成測定等の検査を元に診察を行い、患者様一人ひとりに合った運動処方箋を作成いたします。さらに理学療法士による運動指導や管理栄養士による栄養指導など、専門職の手厚いサポートも受けることができます。興味のある方は是非お問い合わせください。

◆ 対象となる方 ◆

- 「元気に長生きしたい」
- 「衰えた体力を戻したい」
- 「運動習慣を身につけたい」と考えている方

毎月第4水曜



お問い合わせ先 地域医療連携室 0570-08-0733（ナビダイヤルでは 4 → 4 を押してください）

※健康増進施設「NASPA・NASPA II」をご利用いただき運動を行います。
ご利用料金は NASPA (TEL 0287-67-1577) にお問い合わせください。

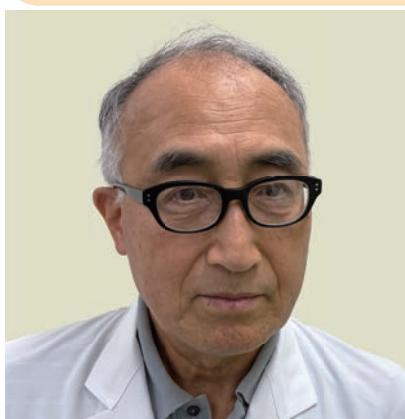


たにぐち はじめ
谷口 肇 先生



◆専門分野
消化器外科
◆出身地
埼玉県
加須市
◆趣味・特技
旅行
プログラミング
アプリ作り

ほんま こういち
本間 浩一 先生



◆専門分野
病理診断科
◆出身地
宮城県
白石市
◆趣味・特技
作曲
ピアノ即興演奏
昆虫観察
絵画陶磁器鑑賞



2025年10月に着任いたしました。小さい頃から転勤の多い家庭で育ったこともあり、さまざまな土地を訪れるのが好きになりました。その影響か、これまで京都から北海道まで、全国のさまざまな地域で勤務してまいりました。専門は消化器外科で、特に肝臓・胆嚢・脾臓の診療を得意としておりますが、専門に限らず入院患者さんを中心に幅広く対応させていただきます。菅間記念病院では、スタッフの皆さんや患者さんに温かく迎えていただき、日々助けられながら業務にあたっています。これからも新しい知識や技術を積極的に吸収し、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。どうぞ気軽にお声がけいただけましたら幸いです。今後ともよろしくお願ひいたします。



菅間記念病院には20年来非常勤医師としてお世話になつてきましたが、昨年11月より常勤医として、黒磯の地に腰を落ち着けたいと思っています。9月まで、千葉県房総半島の先端近く、鴨川にある亀田総合病院に10年おりました。同居家族はネコの親子6匹。

専門は職業性肺疾患、特に珪肺や石綿肺などのじん肺病理解剖学で、コロナ禍までは、インド、タイ、コンゴ、南アフリカ、ブラジル、メキシコなどで、現地ドクターへの教育的ワークショップを、仲間とともにに行ってきました。また南アフリカはヨハネスブルクにある職業病研究所で20年間、年に数回現地に赴き、解剖例の検索にいそしんでいました。コロナ以後は、解剖医として病院にへばりついた昼夜のない生活を送ってきました。



短期入院協力病院の指定について

国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構（N A S V A（ナスバ））は、自動車事故により重度後遺障害者となり在宅介護を受けられている方々の短期入院（1回の入院が原則2日以上14日以内、年間45日まで）を積極的に受け入れる病院を「短期入院協力病院」として指定しており、当院も指定を受けています。

短期入院協力病院は、[1] 医学的管理の下に、医師による診察、検査及び経過観察を受けられること、[2] 介

護されている家族の方々が、専門家から在宅介護技術（病状観察法、入浴法、食事法など）及びケアの方法等の助言・指導を受けられることが要件となっています。

ご希望の場合には、事前にご連絡ください。

お問い合わせ先 地域医療連携室

TEL 0570-08-0733

（ナビダイヤルでは 4 → 4 を押してください）

北関東唯一の看護系短期大学 那須短期大学・看護学科

『建学にあたって』

学校 法人博愛会 理事長
社会医療法人博愛会 理事長 菅間 博
(元杏林大学医学部教授)

那須短期大学は社会医療法人博愛会が学校法人を設立し設置する北関東で唯一の看護系短期大学です。3年の修学で短期大学士（看護学）の称号が得られるとともに、看護師国家資格が取得できます。那須短期大学は新設ですが、母体となる那須看護専門学校の教育基盤と歴史を受け継ぎ、博愛会が経営する全ての医療・介護施設が実習施設となります。さらに高度な教育と研究を担当する看護学の教授陣が増員されます。

近年の医学の進歩は著しく、看護には高度医療を支援する知識や専門技術への対応が求められます。日本は超高齢化時代に突入し、高齢者の看護には病院内での看護から地域での介護への関り、地域での生活支援を含む地域包括ケアにおける役割が求められます。新型コロナのパンデミックにより、患者の療養環境には感染症に対峙する看護の重要性が再認識されています。

那須短期大学の看護学科の教育は、高度で専門化した医療から地域包括ケアへの対応可能な看護師を育成するカリキュラムとなっています。看護学の様々な講義が、IT/AV 機器を備えた教室で行われ、SNSを利用した自己学習可能な体制が構築されています。高度な医療を担う総合病院での臨床実習とともに、高齢者の暮らす様々な介護施設等での包括ケア実習が行われます。さらに地域とともに生き、地域の社会創りに参画する「地域協創看護論」が展開されます。

那須短期大学は、観光地“那須”的玄関口、東北新幹線の那須塩原駅前に位置する医療・介護複合施設、メディカルヴィレッジ NASU のコア施設です。那須短期大学の新講堂では、地域に開かれた講演会が企画され、地域住民の交流の場が提供されます。さらに複合施設の中には看護実習の場となる8階建て病院棟が新たに建設され、メディカルツーリズムの拠点となる人間ドック・健診センター、フィットネスジム、老人ホームなどが開設されます。

那須短期大学看護学科の設置認可

那須看護専門学校 校長 屋代 隆

社会医療法人博愛会理事長あてに文部科学大臣松本洋平の名前で、「令和6年10月18日付けで申請のあった那須短期大学の設置について、許可します。」という認可書が届きました。三年前に那須短期大学看護学科の設立準備を始め、やっとここまでたどり着きました。お忙しい中、これまでの準備作業に携わっていただきました多くの博愛会関係の皆様方に心から御礼申し上げたいと思っています。文科省への申請書はA4でプリントアウトすると数千ページとなりました。

「地域の医療は我々地域人で」という地域を中心とした教育・研究を発展させるための那須短期大学看護学科です。特色である「地域に根差した教育」を発展させると共に、地域の保健医療福祉の向上のための中核的存在となるよう、「地域の医療状況の研究活動の推進」「地域医療の向上のための地域貢献活動の推進」等を進め、全て住民が居住する地域にかかわらず心身ともに健やかに歳を重ねていくことのできる社会の実現を目指します。

また、私たちの地元黒羽藩の家老大関増虎の子として江戸末期に生まれ、日本のナイチンゲールと呼ばれるようになった大関和をご存じでしょうか。彼女の看護理念を紡ぐのが那須短期大学看護学科です。大関和は「報酬をあてにせず、行為それ自体が酬いなのだ」という言葉を残しています。彼女は近代医療の教えとヒューマニズムをもとにした看護の先駆けとして、近代日本の看護界の創始者となったのです。那須短期大学看護学科が掲げる「地域協創看護学（論）」は、大関和の理念のもと「地域の患者さんは地域人である私達の手で…」を合言葉に、患者さんやそのご家族、そして地域に住む人たちや各医療系施設・行政も巻き込んで、みんなで地域の健康を守ろうと言う新しい概念の学問です。文部科学省の言う「総合知」の先駆けとも言えるかもしれません。那須短期大学看護学科はそれをリードする看護師を育てていくことを、皆様方にお誓いいたします。

注：総合知とは「多様な分野の専門知を統合し、社会課題の解決や新たな価値創出を行う知」を意味し、学際・越境型研究の支援、大学・教育改革、社会との共創、科学技術・イノベーション政策との連携、等の施策をすすめようとしている。

本年4月開学

『建学の理念とミッション』

理 念：

博愛と信頼、地域と共に、高度な医療

ミッション：

生命を尊重し豊かな人間性と倫理観をもつ看護師、高度な医療を専門職業として支える看護師、地域の医療、介護、保健に寄与し、地域社会の創造と発展に貢献する看護師を育成する。

令和8年度 入学生募集（2期）

入試区分	エントリー期間	出願期間	試験日	合格発表日
総合型選抜	R7年12月22日(月)～2月19日(木)	2月24日(火)～3月3日(火)	3月7日(土)	3月12日(木)
一般選抜	—	2月18日(水)～3月16日(月)	3月21日(土)	3月24日(火)
社会人選抜	—	2月18日(水)～3月3日(火)	3月7日(土)	3月12日(木)

学校法人博愛会 那須短期大学 看護学科

3年課程 入学定員 40名

取得資格：看護師国家試験受験資格

取得可能学位：短期大学士（看護学）



お問い合わせ（募集要項請求）

- 〒 329-3135 栃木県那須塩原市前弥六 54-1
- TEL : 0287-67-1188
- URL : <https://www.hakuai.ac.jp/>



那須看護専門学校

第13回 看護の誓い 戴帽式典

那須看護専門学校は
那須短期大学に生まれ変わります



▲ 蜡燭の灯りを手に、整列する戴帽生

令和7年9月27日、那須看護専門学校「第13回 看護の誓い 戴帽式典」が、大正堂くろいそみるひいホール（那須塩原市黒磯文化会館）で執り行われました。

戴帽式典とは、一説には、フローレンス・ナイチンゲールが若き日、社会奉仕活動に共鳴し、女子献身者となるため養成所に入館した際に受けた、着衣式及び祝福式が由来となっていると考えられています。

本校でも、医療機関での臨地実習を前にした学生が、看護師を志す決意を新たにする式典として、毎年10月前後に行っています。

式典では、女子学生はナースキャップ、男子学生は校章のワッペンを授かり、続くキャンドルサービスでは、蠟燭の火が照らす灯りの中で、厳かにナイチンゲール誓詞を齊唱しました。この日立てた誓いを忘れず、実習や国家試験を経て、一人前の看護師に成長してくれることを願っています。



▲ ホワイエで記念撮影をする戴帽生

研修旅行 in 北海道



▲ 東苗穂病院スタッフの方々と共に（2班）



▲ 函館の夜景を一望



▲ 小樽運河にて

今年度の研修旅行先は北海道。11月6日から9日までの4日間、第一班 19名が札幌・函館を巡り、医療施設見学と職員交流をテーマに研修を行いました。普段は部署ごとに忙しく働く職員が同じ時間を共有し語り合う貴重な機会となりました。

出発当日、福島空港から飛行機で新千歳空港へ。最初に訪れたのは話題の新球場エスコンフィールド北海道。広大な球場を見学し、開放的な雰囲気に圧倒されました。その後、白い恋人パークではあちこちから甘い香りが漂う中、見学や買い物を楽しみました。夜はホテル近くのジンギスカン食べ放題で乾杯し、初日から笑い声の絶えない夕食となりました。

二日目は札幌市内の東苗穂病院と同グループの次世代型デイトレセンタ「エルパサ」の二箇所を訪問しました。東苗穂病院を含む豊生会は、病院・クリニック・訪問看護・デイサービス・介護施設などを数十以上の施設で運営しており、医療から介護・在宅支援まで幅広くカバーしているそうです。当日はスライドで病院・関連施設紹介や地域医療への取り組みを拝見し、施設内の見学をさせていただきました。職員の方々から貴重なお話を伺うことができ、実際の現場を通して患者中心のケアやチーム医療の重要性を改めて感じる研修となりました。午後は小樽へ移動し、歴史ある運河の街を散策。小樽ビール醸造所・小樽倉庫No.1では、醸造タンクを眺めながらドイツ伝統製法のビールを味わいました。店内は温かく落ち着いた雰囲気で、外の寒さを忘れるようなひとときでした。その後はお土産



◀ 函館朝市の
海鮮丼
▼ 小樽ビールで
乾杯！



◀ ジンギスカン
▼ 札幌時計台で
決めポーズ！



▲ 函館山にて集合写真（1班）

探しの旅へ。北一硝子では職人の繊細な技と幻想的な灯りの空間を堪能し、キャンドルグラスを旅の記念品としました。札幌へ戻る頃には雨が雪に変わり、夕食の炉端焼きの帰り道では北海道の「しばれる」寒さを感じました。思わず肩をすくめながらも、和気藹々とした夜でした。

三日目の朝、札幌は一面の雪景色。真っ白な街を後にして特急北斗で函館へ向かいました。函館朝市で昼食に海鮮丼を味わい、ホテル到着後の自由時間には赤レンガ倉庫での買い物を楽しみました。函館山の澄んだ空気の中に輝く夜景は息のむ美しさで、旅のクライマックスにふさわしいひとときとなりました。下山のバスでは帰り道でも夜景を楽しめるよう照明が落とされ、山の木々が開けた先に広がる景色に車内中から感嘆の声が上がったのも良い思い出です。

あっという間の最終日。昼の函館山から街並みを見下ろした後、バスガイドさんの案内で元町エリアを散策しました。教会や洋館など、異国情緒あふれる街角を巡りながら北海道の歴史と文化を感じることができました。北海道の締めくくりに、ハセガワストアの名物「やきとり弁当」を購入。新幹線でどさんこの味を堪能しながら、青函トンネルを抜けて那須塩原に帰着しました。

研修旅行の4日間は、学びと数多くの思い出に彩られた時間でした。部署の垣根を越えた交流は、今後のチーム医療における協力体制の強化にもつながる得がたい体験となりました。この経験を日々の業務に活かしていきたいと思います。

（放射線科 檜山 陽香）

Senang
berkenalan
denganmu.

看護部 EPA



(左のインドネシア語訳)
お会いできて嬉しいです。

インドネシアからの実習生ご紹介

EPA（経済連携協定）は、日本と相手国が経済や人材交流を円滑に進めるために結ぶ協定です。看護分野では、この制度により日本はインドネシア・フィリピン・ベトナムから看護師候補者を受け入れています。候補者は既に母国で看護師資格を有していますが、来日前に日本語を学び、来日後は病院で働きながら研修を続け、一定期間の実務経験を積みます。その後、看護師国家試験に合格すれば正式に日本の資格を取得し、看護師として就業

アグス・ワヒュディ さん

(33歳)

Agus



Wahyudi

◆ 趣味：サッカーをすることです。



◆ 好きな日本食：うどんです。

◆ インドネシアの良いところ：いろいろな文化や民族や宗教がありますが、みんな平和に生活しています。また、自然がとても美しく、資源も豊かです。

◆ 日本に来て驚いたこと：まず、日本がとてもきれいなことに驚きました。公共のゴミ箱が少なくて、どこに捨てればいいか分からず、最後に自分のバッグに入れて持ち帰りました。それでも町がきれいなままなのはすごいと思いました。また、日本ではよく並ぶことにも驚きました。行列が長くても、日本人は落ち着いて順番を守り、ほとんどの人が割り込みをしません。これは日本の「ルールを大切にする心」をよく表していると思います。

◆ 抱負：私は、日本の医療の役に立ちたいと思っています。日本の病院の質の高さや新しい技術に感動しました。日本の病院で働くときは、患者さんに安心してもらえるように、丁寧な看護をしたいです。そして、日本の医療の考え方や技術をしっかり学び、信頼される職員になりたいです。日本での経験を生かして、将来はインドネシアの医療にも貢献したいと考えています。よろしくお願いします。

することができます。今回、普門記念病院では2名の候補生を受け入れ、日々の業務に従事しながら国家試験に挑戦する予定です。一日も早く業務に慣れ、国家資格を得て、地域に貢献できる看護師として活躍していただけるよう、支援していきたいと考えております。本年も1名の候補者を受け入れる予定であり、今後も継続的に受け入れを行ってまいりますので、職員の皆様には温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。

アデ・クリスティアン・ディマ さん

(34歳)

Ade Kristian



Dima

◆ 趣味：映画鑑賞

◆ 好きな日本食：カレーライスとラーメンが好きです。



◆ インドネシアの良いところ：自然が美しく、人々がとても親切なところです。

◆ 日本に来て驚いたこと：公共交通機関の時間がとても正確なところに驚きました。

◆ 抱負：勤務開始にあたり、精一杯頑張っています。早く職場に慣れ、皆様のお役に立てるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



▲ 先輩スタッフとシーツ交換の実習中です。

地域包括総合センター



知ってる!? 博愛会地域包括総合センター介護福祉士実務者研修校の案内

あけましておめでとうございます。突然ですが今年の質問初めです。博愛会には「那須看護専門学校」だけではなく、もう一つ学校があるのをご存じでしょうか？

…もう一つの学校、それは「介護福祉士実務者研修校」です。介護福祉士国家試験を受験するために必要な研修を行っており、6ヶ月の期間中、「自宅での通信課題」と「普間記念病院内の教室で11回の授業（スクーリング）」を行うハイブリッドな学校です。

当校は平成29年に開校し、今年開講10年目を迎えます。これまでに115名の方が卒業され、この地域の介護・福祉現場に多くの人材を送り出してきました。

通信課題・授業とも、介護・福祉分野に必要な専門的知識・技術を学びます。通信課題は、介護の基本から支援技術などについて教科書を読み解き、理解しながら進めてもらいます。授業では、実際にさまざまな演習を行います。例えば、たんの吸引や胃ろうからの栄養摂取に関する技術習得の授業では、看護学校の先生等にも講師

となってもらい専門知識と正しい技術を親切丁寧に指導します。最後には試験を行い、合格することで修了となります。

例年修了式を終えた11月以降には、国家試験に向けた模擬試験や受験対策講座を行っております。試験対策により万全の体制を整え、1月にある国家試験を迎えます。この時期は受験生だけではなく講師の私たちもドキドキです。合格発表のある3月はもっとドキドキしますが、合格された方の受験前とは打って変わった明るい声での報告は、喜びと安堵に満ち溢れます。当校を修了し介護福祉士になった方が現場で一生懸命働いている姿を時折みかけますが、本当に嬉しく感じています。

現在、介護・福祉のお仕事をしていて介護福祉士としてスキルアップしたい方、これから介護・福祉分野で働くと思っている方、ぜひ、「博愛会地域包括総合センター介護福祉士実務者研修校」で一緒に学んでみませんか？今年もどうぞよろしくお願いします。

グループワーク

受講生同士の交流も深まります



講義

喀痰吸引についてわかりやすく説明しています



演習

親切丁寧に指導しています



終講式

修了証書を授与します



地域包括総合センター：TEL 0287-62-3311

介護福祉士実務者研修校：TEL 070-7371-7384(担当直通)

菅間付属診療所



冬の感染症から
身を守りましょう!

寒さが本格化する1月は、インフルエンザをはじめ、かぜや胃腸炎などの感染症が増える季節です。体調管理に気をつけながら、日々の予防を続けましょう！手洗い・うがいはもちろん、部屋の換気や適度な湿度を保つこと、バランスのよい食事と睡眠が免疫力を維持するポイントです。人が多い場所ではマスク着用も効果的です。またインフルエンザは、ワクチン接種によって重症化を防ぎ、症状を軽くできることが期待されています。

インフルエンザ予防接種実施中！

当院では令和8年1月末までインフルエンザワクチンの接種を行っております。本年度は、より多くの患者さまにご利用いただけるよう予約不要で接種いただける体制といたしました。「急に時間ができた」「予約が取れない」という方にもご利用いただきやすくなり、実際に昨年度より多くの患者さまにお越しいただいております。ご来院順でのご案内となるため、混雑時はお待ちいただくことがあります、ご理解のほどお願ひいたします。

インフルエンザ予防接種予定

		月	火	水	木	金	土
一般	午前 9時～ 11時	○	○	×	○	○	○
	午後 2時～ 3時まで	○	×	○	4時まで	○	2時30分まで
小児	午前 9時～ 11時	○	×	○	○	○	×
	午後 2時～ 3時まで	○	○	○	4時まで	○	4時まで

※今年度は予約不要で接種いただけます。

初回接種の方は、接種後30分待機して頂きます。
詳細は当院HPをご参照ください。(QRコード↓)

菅間付属診療所
TEL 0287-67-1570



ウェルネス NASPA ウェルネス NASPA II

1号店 NASPA にて ランニングサークル始動！



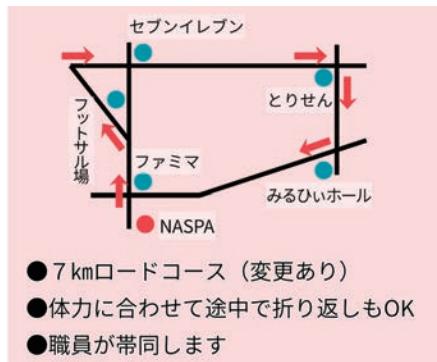
マラソン大会に出場してみたい方、ダイエットや体力づくりをしたい方、仲間を作りて楽しく走りたい方など、どなたでも自由に参加できます。那須塩原の街を気持ちよく走ってみませんか？

当サークルを率いるのは、弊社職員であり、ベテランマラソンランナーの越沼健一課長。先日開催された第39回宇都宮マラソン大会では、10km一般男子（60歳以上）で6位入賞に輝きました。鍛え抜かれた身体は、なんと体脂肪率10%！NASPAでのトレーニングや日々のロードワークの成果だそうです。

原則 毎週日曜日（ナスパで告知します） 雨天中止

午前10時30分にナスパIの東屋前集合で1時間程度ジョギングします。持ち物：飲み物・タオル等。

マラソンは、コツコツ練習すれば何歳からでも確実にレベルアップできる種目です。この機会に是非お試しください。非会員の方のNASPA無料体験も受け付けております！



▲ ランニングコース概要

お問い合わせ ウェルネス NASPA
TEL 0287-67-1577
ウェルネス NASPA II
TEL 0287-73-5936



motto はくあい

第24回健康増進公開講座

今回は「リハビリテーション」をテーマに行われ、入澤先生には、ただの「長寿」ではなく「健康長寿」のために効果的な運動方法や、栄養摂取での注意点について、豊富な症例やデータを交え、とても詳しくご講演をいただきました。一瀬先生には当院リハビリテーション科の活動紹介と健康維持のために知っておいてほしいポイントを一般の方にも分かりやすくお話ししていただきました。今後も地域の皆様の健康に役立つ講座を開催して参りますので、是非ご参加ください。



左「今日から実践 健康長寿のための運動・栄養のはなし」
獨協医科大学 リハビリテーション科学講座

主任教授 入澤 寛先生

右『リハビリの活動紹介と健康維持のための
「ここだけ！」ポイント』
菅間記念病院 リハビリテーション科
理学療法士 一瀬 裕介先生

第2回虹色フェス開催 大盛況！

2025年9月23日（火・祝）西那須野スポーツプラザにて開催されました。虹色フェスは医療的ケアや様々な障がい・特性をもつ子供達が、家族と共に楽しめる場として、当事者団体や地域の様々な団体・専門職が運営に携わって作り上げているお祭りです。今年のメイン企画はeスポーツ。身体に障がいがあっても楽しめるように様々なスイッチを配置し、格闘技やドライブゲームを楽しみました。音楽ステージでは菅間在宅診療所メンバーがバナナに扮してピアニカ演奏とダンスを披露しました。550名を超える人出があり賑わっていました。



私の好きな風景 Vol.18

木漏れ日に照らされる花

栄養科 大和田 理奈



▲斜面に咲くイワウチワ

▲麓のショウジョウバカマ

春に登山が趣味である父に誘われ、「イワウチワ」を見に那珂川町へ散策に行きました。入口では杖の貸し出しがあり、安全のため借りておくことにしました。勾配がきついところや足を滑らせそうなところもあり、杖を借りておいて良かったと感じました。

群生地に到着すると、そこには咲き誇るイワウチワが山の斜面一面に広がっていました。木漏れ日に照らされて輝く小さな花の可憐な姿にとても感動し、その美しい姿を残そうと斜面にカメラを向けました。

山の中を苦勞しながら歩き、イワウチワを堪能して、無事に麓に降りると「ショウジョウバカマ」という淡紅色の花が、地面一面を埋め尽くして咲いており、疲れた

身体を癒してくれました。

イワウチワの花言葉は「春の使者・適応力」、ショウジョウバカマの花言葉は「希望」だそうです。肌寒さの残る時期に木々の中を歩き、澄んだ空気が心地良かったことを覚えています。自然に触れて、花言葉の通りに健気に咲く花達に力を貢えます。



▲木漏れ日に照らされるイワウチワ